

会津地域におけるレーマニー系カラーの経営試算

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

花き一カラー経営診断

2 担当者

大竹真紀・堀越紀夫

3 要旨

畠地性カラーの雨よけパイプハウス栽培において、レーマニー系多収性品種を用い、輸入球と切り下球根を再利用して組み合わせた作型体系により、経営開始3年以降の経営指標を作成した。

(1) 輸入球は、採花本数は多いが球根の費用負担が大きいため所得がマイナスとなる。これに、切り下球の再利用作型体系を組み合わせることにより、経営所得が向上する(表1)。

表1 畠地性カラー一系品種による経営試算(導入3年目の組合せ例)

作型等	規模(a)	単収 (本/10a)	採花本数(本/球)		栽培条件	
			クリスタルブラッシュ	ゴールドクラウン	雨よけパイプハウス使用	8000球/10a定植(クリスタルブラッシュ
7月定植: 輸入球20/24	2	74,000	15	3.5	8000球/10a定植(クリスタルブラッシュ	
7月定植: 再利用大球	2	60,000	10	5	50%ゴールドクラウン50%)	
5~6月定植: 再利用小球 養成: 40g未満の小球	3	28,000	5	2	再利用大球: クリスタルブラッシュ150g以上、ゴールドクラウン90g以上で区分	
		12,000	2	1		
収益性指標						
費用内訳	部門名	組合せ合計	7月定植: 輸入球	7月定植: 再利用大球	5~6月定植: 再利用小球	養成: 40g未 満の小球
	規模(a)	10	2	2	3	3
	生産量(本)	38,800	14,800	12,000	8,400	3,600
	単価(円/本)	75	76	80	71	60
	粗収益(円)	2,896,000	1,120,000	960,000	600,000	216,000
	費用(円)	2,161,476	1,248,279	397,029	319,278	196,890
	所得(円)	734,524	-128,279	562,971	280,722	19,110
	所得率(%)	25.4	-11.5	58.6	46.8	8.8
	労働時間(時間)	470	132	132	133	72
	1時間当たり所得(円)	1,564	-970	4,258	2,108	265
費用内訳						
種苗費	792,000	792,000	0	0	0	
肥料費	28,683	5,737	5,737	8,605	8,605	
農薬費	21,812	5,262	5,262	7,893	3,395	
動力光熱費	11,733	3,114	3,114	3,509	1,995	
諸材料費	27,003	5,401	5,401	8,101	8,101	
小農具備品費	4,052	810	810	1,216	1,216	
施設費(減価償却費・修理費)	148,996	31,349	31,349	43,149	43,149	
機械費(減価償却費・修理費)	202,206	50,552	50,552	50,552	50,552	
租税公課	5,521	1,104	1,104	1,104	2,209	
流通経費	919,470	352,950	293,700	195,150	77,670	
(内訳) 出荷運賃	261,900	99,900	81,000	56,700	24,300	
出荷販売手数料	419,920	162,400	139,200	87,000	31,320	14.5%
包装資材費	184,300	70,300	57,000	39,900	17,100	
保管料	48,500	18,500	15,000	10,500	4,500	
検査料	4,850	1,850	1,500	1,050	450	

注) 切り下球の再利用に当たっては、大球は7月に定植して秋切りに向け、40g以上の球根は5月に定植して夏切りとする。40g未満の球根は5月に定植して夏切りで1~2本採花しながら養成する。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成23年度~26年度
- (2) 研究課題名 会津地域の特色を活かした野菜・花きの高品質安定生産技術の確立
(畠地性カラーの低コスト栽培体系の確立)
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成26年度参考成果「カラー「クリスタルブラッシュ」の秋切り栽培は前年5月定植の再利用球で収量アップ」